

国債に係る海外説明会（海外IR・第4回）について

1. 開催場所、日時

日付	都市	参加人数
6月20日(火)	シカゴ	40名
6月21日(水)	ニューヨーク	88名(注1)
6月22日(木)	ワシントン	25名
6月23日(金)	ボストン	20名
6月26日(月)	サンフランシスコ	31名
6月27日(火)	ロサンジェルス	28名
合計		232名

(注1) ニューヨークにおいて記者会見を実施。毎日新聞、朝日新聞、東京新聞、テレビ東京、NHK、時事、共同通信の各社が参加。

(注2) 招待状の選定、会場の設営等について国債市場特別参加者の協力を得た。

(注3) 以上のほか、各都市において、個別投資家訪問も行った。

2. 説明の概要

- (1) 日本経済及び財政政策について（説明者：渡辺財務官）
- (2) 最近の国債管理政策について（説明者：鷲見国債業務課長）
- (3) パネルディスカッション、質疑応答

(注) 当日の様様については、ブルームバーグ上で視聴可能。(アクセスキー：JGBIR)

3. 主な質問等

【日本経済・財政再建関係】

- ・ 消費税以外の税制改革について
- ・ 政府資産債務改革がどの程度財政再建に貢献するかについて
- ・ 日銀の利上げの時期及び可能性について
- ・ 最近の株式市場の動向について
- ・ 人口減少が長期的に経済に与える影響について

【国債関係】

- ・ 50年債、外債、非市場性国債発行の可能性について
- ・ 日銀の利上げが国債市場に与える影響について
- ・ 短期国債の発行に関する現状について
- ・ 流動性供給入札及びバイバックの今後の予定について

第5回国債に係る海外説明会（IR）の実施について

1 スケジュール

日 時	場 所
18 年 10 月 11 日（水）	シンガポール ※記者会見あり
10 月 12 日（木）	香港 ※記者会見あり
11 月 20 日（月）	シドニー

2 各説明会（シンガポール・香港）の内容

- ① 日本経済の現状及び財政構造改革（説明者：渡辺財務官、40 分）
- ② 国債管理政策（説明者：鷺見理財局国債企画課長、20～40 分）
- ③ ①～②をテーマとしたパネルディスカッション・質疑応答(40～60 分)

パネリスト：Brendan Brown (Director and Chief Economist,
Mitsubishi UFJ International)

白川 浩道 (Managing Director and Chief Economist,
Credit Suisse Securities)

（注）シドニーでの説明者等詳細は未定。

3 対象

海外の大口投資家、市場参加者等（人数は未定であるが、各都市それぞれ
数十～百数十人となる見込み）

以上のほか、各地において状況に応じ、個別に投資家訪問等も行う見込み。

財務省主催の国債説明会以外のＩＲについて

１．「日本の資本市場サミット “Japan Capital Markets Summit”」への参加

（１）開催場所等

場所：ロンドン

日時：平成１８年 ５月１６日

主催：ユーロウィーク

（２）財務省からの参加

- ① 基調演説（谷垣禎一財務大臣（ビデオ出演））
- ② パネルディスカッション（大川浩国債企画課長（当時））

２．「日本資本市場コンGRESS “Japanese Capital Markets Congress”」への参加

（１）開催場所等

場所：東京（グランドハイアット東京）

日時：平成１８年 ９月２７日～２８日

主催：ユーロマネー

（２）財務省からの参加予定

- ① 基調演説（渡辺博史財務官）
- ② ワークショップ：ＪＧＢ市場の将来（鷺見周久国債企画課長）
- ③ 日本国債に関するブースへの出展

３．国債市場特別参加者の各社の行うセミナー等への講師派遣

４．世界銀行、経済協力開発機構等の主催する国債発行体の会議出席

５．海外投資家等との個別面談